

瀬戸内海

—観光資源と浅場環境の再評価とその長期的活用戦略—

趣 旨

白砂青松の多島景観を誇り、漁業資源の宝庫であった瀬戸内海は、一時は「死の海」とまで形容されました。1973年に施行された「瀬戸内海環境保全臨時措置法」以降、瀬戸内海本来の姿を取り戻すためにさまざまな環境回復の試みが続いています。

瀬戸内海研究に取り組む分野横断的な学際的集団である「瀬戸内海研究会議」が1992年に設立され、広島市で初の「瀬戸内海研究フォーラム」が開催されて以後、瀬戸内海を取り巻く13府県を巡回する形で毎年行われてきました。

今回の瀬戸内海研究フォーラムは第二巡目の新たな出発点となります。フォーラムは4つのセッションで構成しますが、その最後の第4セッションにおいては、瀬戸内海研究に対してこれまでのフォーラムが果たしてきた役割を総括するとともに、瀬戸内海が本来の輝きを取り戻すために今後どのような保全・創造策が必要かを改めて考えます。また、第1と第3のセッションでは、それぞれ、宮島を背景に瀬戸内海がもつ文化・自然資源を観光振興との関連において再評価し、並びに水産資源再生の上で必須の空間である浅場環境の再評価と長期的活用戦略を主たるテーマとして論議したいと考えています。

また、環境保全・創造に関する研究・活動報告の発表セッションも設けておりますので、関心のある方のご参加をお待ちしています。

日 時 平成18年 **8月31日(木)** 13:00~18:15

9月 1日(金) 10:00~16:00

会 場 (フォーラム) **宮島観光会館**(元宮島町役場)
広島県廿日市市宮島町412番地
TEL 0829-44-2000

(懇 親 会) **国民宿舎「みやじま杜の宿」**
広島県廿日市市宮島町大元公園
TEL 0829-44-0430

参加料 ○フォーラム(参加人数:150名程度)
参加料:無料 資料代:1,000円

○懇親会(国民宿舎「みやじま杜の宿」)
参加料:4,000円
(資料代・懇親会参加料につきましては、当日フォーラム会場で申し受けます。)



(写真提供:スタジオ千鶴)

参加申込方法

8月25日(金)までに、氏名・所属・住所・電話番号を明記の上、Eメール・FAX・郵送にて、下記の宛先までお申してください。

(お申込・お問い合わせ先)

瀬戸内海研究会議事務局
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1
国際健康開発センター3階
(社)瀬戸内海環境保全協会内
TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730
Eメール:web@seto.or.jp

会場案内図



アクセス 広島駅(JR山陽本線) 26分 → 宮島口 → フェリー 10分 → 宮島港から徒歩10分
広島駅(広電) 80分 → 広電宮島口 → フェリー 10分 → 宮島港から徒歩10分

主 催:瀬戸内海研究会議
協 賛:瀬戸内海環境保全知事・市長会議、社団法人瀬戸内海環境保全協会
後 援:環境省、広島県、広島市、廿日市市、財団法人福武学術文化振興財団(以上予定)

詳しくは裏面をご覧ください

8月31日(木) 13:00~18:15

開会 13:00~13:25

第1セッション 13:30~15:30

文化・自然資源の保全と観光振興

座長：戸田 常一（広島大学大学院社会科学部教授）

☆瀬戸内海における文化交流－近世を中心として－

頼 祺一（比治山大学現代文化学部教授・広島大学
名誉教授）

☆文化財の保存・管理について－厳島を事例として－

角重 始（広島文教女子大学学長）

☆瀬戸内海国立公園と環境行政

植竹 朋子（環境省中国四国地方環境事務所国立公園・
保全整備課自然保護官）

☆どう生かし、どう伝える－報道を通じて思うこと－

山城 滋（中国新聞社編集委員室長）

第2セッション 15:45~18:15

環境保全・創造に関する研究・活動報告

ポスター発表：ハイブリッド方式

瀬戸内海研究会議総会 17:30~18:15

懇親会 18:30~20:00

（国民宿舎「みやじま杜の宿」 参加料：4,000円）

9月1日(金) 10:00~16:00

第3セッション 10:00~12:00

浅場の再評価と改善戦略

座長：上嶋 英機（広島工業大学大学院環境学研究所教授）

☆浅場の減少が生物資源持続性に及ぼす影響

藤井 直紀（愛媛大学沿岸環境科学研究センターCOE研究員）

☆二枚貝生産の場としての浅場の機能と保全・再生戦略

浜口 昌巳（（独）水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究
所生産環境部藻場・干潟環境研究室長）

☆浅海藻場の生態系機能評価と保全に向けた諸課題

堀 正和（（独）水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究
所生産環境部藻場・干潟環境研究室研究員）

☆藻場・干潟の再生技術の開発と実践

古川 恵太（国土交通省国土技術政策総合研究所沿岸海
洋研究部海洋環境研究室長）

第4セッション(パネルディスカッション) 13:15~15:45

瀬戸内海の文化・自然的価値について

司会進行：上 真一（広島大学大学院生物圏科学研究科教授）

☆パネリスト：

・瀬戸内海研究会議・瀬戸内海研究フォーラムが果
たしてきた役割（仮題）

岡市 友利（前瀬戸内海研究会議会長・香川大学
名誉教授）

・閉鎖性海域の環境羅針盤－瀬戸内海はどこを目指
すべきか？－（仮題）

松田 治（瀬戸内海研究会議会長・広島大学名
誉教授）

・瀬戸内海の環境資源の保護と再生の方向（仮題）

上嶋 英機（広島工業大学大学院環境学研究所教授）

・瀬戸内海の環境活動とNPO支援ネットワーク（仮題）

松尾 健司（NPO法人ちゅうごく環境ネット理
事兼事務局長）

・瀬戸内海を取り巻く社会経済情勢の変化と瀬戸内
海価値の再評価（仮題）

戸田 常一（広島大学大学院社会科学部教授）

ポスター賞発表・閉会 15:45~16:00

瀬戸内海研究フォーラム in 広島

参加申込書

氏名

所属

住所

TEL

フォーラム 参加（研究会議会員・一般）

懇親会 参加・不参加

当該箇所に○印をお付け下さい。